



学務部 大学院事務グループ
〒181-8585 東京都三鷹市大沢3-10-2
TEL: 0422-33-3231 FAX: 0422-33-3688
E-mail: gs-adm@icu.ac.jp
<https://www.icu.ac.jp>



ICUはグローバル・コンパクト、国連アカデミック・インパクトに参加しています。



リベラルアーツの先のプロフェッショナリズムへ

INTERNATIONAL CHRISTIAN UNIVERSITY

2026年度入学案内

国際基督教大学大学院

アーツ・サイエンス研究科 | Graduate School of Arts and Sciences

博士前期課程	心理・教育学専攻	公共政策・社会研究専攻	比較文化専攻	理学専攻
博士後期課程	アーツ・サイエンス専攻			

Education Features

教育の特長 ～すべては学生の豊かな学びのために～

Mission ミッション

学部における一般的、並びに専門的教養の基礎の上に、学術の理論および応用を教授研究し、その深奥を究め、または高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識および卓越した能力を培い、文化の進展に寄与することを目的とする。

Interdisciplinary

学際性

ICU大学院では、「アーツ・サイエンス研究科」という1研究科に全学生が所属します。リベラルアーツを土台とした学際的・分野横断的な教育システムを活用し、多様な専門領域が複合的に学べる環境の中で、自らの研究課題を見出し、学生が自発的に研究テーマを模索し、決めることができるよう指導しています。また、研究方法や論文作成、発表スキルの向上を図るなど研究の土台を作るために、分野を越えて全大学院生が必修する学際的共通科目を導入しています。

Dialogue

対話

リベラルアーツカレッジとして、ICU大学院が最も重視しているのは、教員と学生の「対話」です。「誰が、何について、どう考えているのか」を互いに共有し、対話の中から新しいアイデアを引き出そうとするスタイルは、教員一人ひとりの「学生の個を尊重し、可能性を引き出そう」とする強い意識の現れです。少人数教育を重視するICU大学院では、教員アドバイザー制度を設けており、専任教員がアドバイザーとして学生一人ひとりにつきます。履修計画への助言などをし、修士論文の作成にあたっては専門的な指導を中心に学位取得までの指導に当たります。教員は質の高い教育と責任あるアドヴァイジングに心を砕き、リベラルアーツの大学として、学生たちがクリティカル・シンキングと独立した思考を養えるよう、あらゆる方法を模索し続けています。



Diversity

多様性

様々な国籍の学生と教員がキャンパスで出会い、様々な「違い」を受け入れて互いを尊重し、教育・研究できる環境の中で、グローバルな人材を育成しています。大学院は留学生の割合が多く、私費・国費留学生に加え、ロータリー平和プログラムの留学生や、日本政府による留学生招致プログラムを通じて来るアジアやアフリカからの留学生など、多様な背景を持つ学生が、文化を超えてICU大学院で学びを共にしています。教員構成にも国籍的文化的多様性を求め、献学以来、専任教員の採用は国際公募を基本とし、現在、専任教員のうち3人に1人は外国籍。この外国籍教員比率は、世界的に見ても高い水準となっています。一方、日本人教員も海外での教育・研究経験を持つ教員が多く、その割合は日本人教員の約90%。海外大学の博士号を修得している教員比率は約60%です。授業は、日本語開講と英語開講があり、学生はそこから状況に応じて授業を選択していきます。日本人学生と留学生が同じ授業を受ける中で、お互いの語学スキルもアップしていきます。研究に必要な英語能力を習得する英語科目や、留学生に対する日本語プログラムも、それぞれ用意しています。

Message

大学院部長メッセージ

大きく変容する国際社会

広い視野で専門分野を深め、未来を切り拓く人材を育てる大学院

現在の国際社会は大きな変容の波の中にあります。例えば、急速な地球温暖化が人々の環境に影響を与え始め、その対応が喫緊の課題となっています。ロシアによるウクライナへの軍事侵攻の長期化、パレスチナのガザ地区におけるイスラエルとハマスの紛争など、平和を構築しようとする国際社会の努力が脅かされる事態も起こっています。そして、米国新政権が打ち出している様々な政策が、世界にもたらす影響は大きく、政治・経済・社会が今後どのように変わっていくのか見極めるのが難しいため、やや混沌としているように見受けられます。このような現況において、平和や人間の尊厳といった普遍的な価値を見失わず、現実の問題をしっかりと見極

める姿勢が私たちには求められます。その一方で、様々な文化に根差した多様な価値観を理解・尊重し、十分にコミュニケーションを取ることの必要性も従来以上に求められている時代です。したがって、現在の多種多様な課題解決には、高度に専門化された分野の知識だけでなく、分野横断的な視点を持った学生の育成を目指す大学院プログラムが求められているのです。このように大きく変容する国際社会において、ICUの大学院は、直面する諸課題の背景を広い視野で多面的に理解し、高い志と判断力を備えて未来を切り拓く能力を持った人材を育てるプログラムを提供しています。

リベラルアーツ教育の伝統と革新性に根ざし専門知とともに学際性を培う大学院

ICUの大学院は、1研究科・4専攻・13専修分野から構成され、リベラルアーツ教育の伝統と革新性に根ざし、国際性と教育力に定評のある大学の大学院として、優れたプログラムを提供しています。ICUの大学院では、狭い分野の専門知識を深めることを中心とする従来の大学院プログラムとは異なり、研究科内のどの授業も原則自由に受講することができます。そのため、専門性を深めながらも、学際的な研究を行うことが可能です。また、博士前期課程で全員に課される修士論文では、自分で課題設定を行い、先行研究の知見を学んで研究の問いを深め、研究課題にふさわしい方法論を学び、調査を行い、論文を執筆していきます。こうした学術的営みの全過程を、少人数教育を大切にしているICUの大学院だからこそ可能になる、きめ細やかな指導でサポートしています。また、学部の授業においてティーチングアシスタントを務める機会もあり、学部授業の運営について学ぶこともできます。ICUの大学院は、世界中から留学生を受け入れており、海外からの留学生

は、希望すれば、日本語の語学プログラム(学部の授業)を履修することもできます。また、国際的な人材交流・育成のため、留学生受け入れプログラムの「ロータリー平和フェローシップ」・「人材育成奨学計画(JDS)プログラム」を実施しています。よって、世界各国からの留学生と共に、国際的な教授陣によって提供される大学院科目を少人数で履修し、議論し、専門知識を身につけることが可能です。このような国際的な教育環境であるため、日本出身の学生にとっては、海外に留学し大学院教育を受けているような経験を得ることが可能です。一方、海外からの学生にとっては、日本や他の国々からの学生と、多様で包摂的な環境で学ぶことが可能です。ICUの大学院には、博士後期課程もあります。また、2019年から新たに、リベラルアーツの素養をもった実務家養成のため、「国際バカロレア(IB)教員養成プログラム」を開始しました。このように、専門知と学際性を培う、学生にとってはまたとない機会が与えられるのがICUの大学院の魅力です。

Profile

石生義人 大学院部長

1995年ミネソタ大学大学院にて社会学博士(Ph.D.)を取得。
2000年国際基督教大学助教授として着任、
2012年から教授。
これまでに、学生部副部長、教養学部長を歴任。
専門は政治社会学、主に、アメリカ人の愛国心に関する研究。



5年プログラム

※対象はICU教養学部所属(予定含む)の学生です。

通常、学部で4年、その後大学院2年の計6年間の学びで取得する修士の学位を、学部4年、その後大学院1年の計5年で、「学士」と「修士」両方の学位を取得できる「学士・修士5年プログラム」を2011年より開始しています。

教養学部4年間 + 大学院1年間 = 5年で博士前期課程まで修了/学士と修士を取得

教員の情報についてはこちら

大学院担当各教員の経歴、学歴、研究分野、研究テーマ、著書、論文等をご覧いただけます。

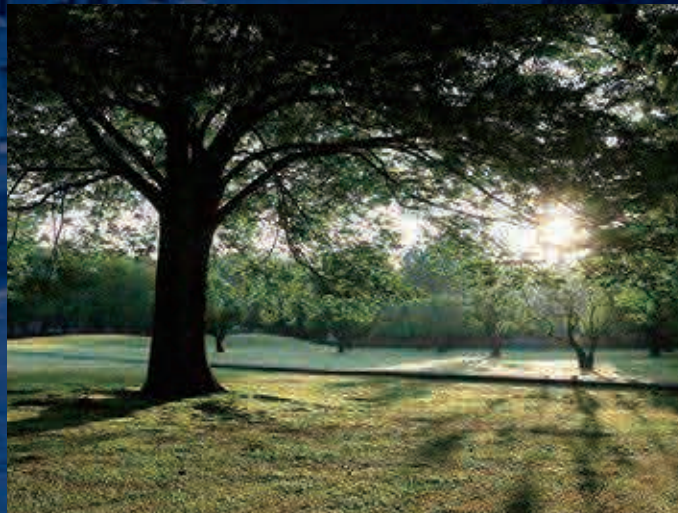
<https://www.icu.ac.jp/academics/gs/faculty/>



Master's Course

博士前期課程 (MA)

博士前期課程では、広い視野に立って精深な学識を受け、
専攻分野における研究能力、
またはこれに加えて高度の専門性が求められる
職業を担うための卓越した能力を養います。



学位取得の条件

修士課程を修了するためには、2年以上在学し、30単位以上を修得し、修士学位候補者となり、修士論文を提出し、合格しなければなりません。修士課程を修了するには、2年以上在学し、30単位以上を修得し、修士学位候補者となり、修士論文を提出し、研究科が行う論文審査及び最終試験に合格する必要があります。修士論文を提出し、研究科で行われる論文審査及び最終試験に合格すること。標準的な在籍期間は2年です。

プログラム・専攻分野について

修士課程では、学際的なカリキュラムが用意されていますが、希望者は出願時に「プログラム」と「集中領域」を1つずつ選択する必要があります。各プログラムの教授の専門分野、提供科目、授与される学位などを確認し、慎重に選択してください。特に大学院では、教員から受ける研究指導が重要です。志願者がどのプログラム・分野を選択するか迷ったときは、問い合わせや相談をすることをお勧めします。研究計画や希望する研究分野に関連する専門分野の教員と連絡を取って相談してください。

Doctoral Course

博士後期課程 (Ph.D.)

専攻分野について研究者として自立して研究活動を行い、
またはその他の高度に専門的な業務に従事するのに
必要な高度の研究能力およびその基礎となる豊かな
学識を養います。取得できる学位は、博士(学術)です。



学位取得の条件

指導教官は、博士論文コース(3コース6単位)を通じて、博士号取得者を指導します。毎年度末に研究報告書を提出するとともに、博士候補者資格を取得するためには、博士候補者認定試験に合格しなければなりません。この資格を得た者は、この資格を得た者は、博士論文を提出し、最終試験を受けるまで、少なくとも3学期は研究指導を受けることになります。学位の認定は、評価委員会が行います。学位は評価委員会で決定されます。このプログラムの標準的な在籍期間は3年です。

心理・教育学専攻

教員数	23名	科目数	74科目	英語開講	36%
-----	-----	-----	------	------	-----

人の営みの根源であり、平和のための第一歩「人間性」の研究。

心理・教育・言語にかかわる学問諸分野において、人類が平和のかつ創造的な営みのうちに共生するための心理・言語・教育的な諸条件を探求し、国の内外でその実現に向けて指導的な役割を果たす人材を育成します。



専攻主任メッセージ

ドーソン ウォルター P. 教授

心理・教育学専攻では、学生は、人間の本质や個人の発達・育成に関する重要な問題に取り組むことが求められます。当専攻のカリキュラムで学ぶことで、教育、心理、言語教育の分野で質の高い研究を行うために必要な知識とスキルを養うことができます。学生は、問題解決、分析的・創造的思考、専門的コミュニケーションなどのアカデミックなスキルを身につける機会が得られます。また、国内外の著名な教員や他の学生との積極的な交流や共同作業を通じて、人間性に対する新しい視点、さらには鋭い洞察力をも身につけることが奨励されています。

専門分野

SPECIALTY

■ 教育学専攻



リベラルアーツ教育を基盤とし、質的・量的研究方法と批判的思考に基づき、主に三つの領域で教育学を学びます。国際・比較教育分野では、教育制度や教育問題を、国際比較分析を通して、将来に向けた教育政策の根本方針を探ります。教育工学領域では、e-ラーニングをはじめインターネット技術の教授学習過程への活用について研究します。教育学理念・実践領域では、教育社会学、教育心理学、教育哲学、教育史の観点から、教育制度、学習プロセス、学校・家族・コミュニティの社会構造・多文化状況の諸特徴と教育との関連について研究します。

学生メッセージ

JUNG, Yeonjun

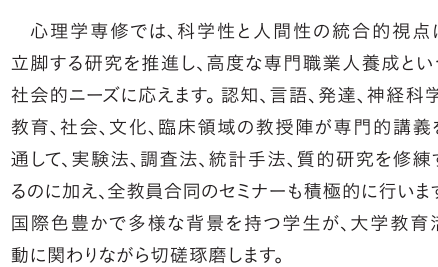
博士前期課程
心理・教育学専攻



交差する専門と価値観

私はバイリンガルの在日高齢者を対象に言語と記憶の関係について研究しています。ICUでは、少人数のゼミや院生同士の交流で自分の研究を教員や院生と共有する機会が多いです。専攻を越えて履修ができる制度や、多様な国籍・専門性を持つ学生・教員との対話を通じて、新たな視点を得ることができる点も魅力です。あなたもぜひICUで自分だけの学びを見つけてください。

■ 心理学専攻



心理学専攻では、科学性と人間性の統合的視点に立脚する研究を推進し、高度な専門職業人養成という社会的ニーズに応えます。認知、言語、発達、神経科学、教育、社会、文化、臨床領域の教授陣が専門的講義を通して、実験法、調査法、統計手法、質的研究を修練するのに加え、全教員合同のセミナーも積極的に行います。国際色豊かで多様な背景を持つ学生が、大学教育活動に関わりながら切磋琢磨します。

学生メッセージ

田村 つむぎ

TAMURA, Tsumugi
博士前期課程
心理・教育学専攻
(2025年3月修了)



5年プログラムで深めた学び

私は5年プログラム生として、ボーイスカウト運動における教育について修士論文を執筆しました。学部での卒業研究を通じてより深く認識した自身の関心や課題意識を基により学びを深めることができました。大学入学当初はあまり考えていなかった大学院への進学ですが、経済的・時間的なコストを抑えつつ学びを深められた5年プログラムには感謝しています。

■ 言語教育専攻



英語教育及び外国語としての日本語教育の理論と実践に関わる学問領域を修めます。その基礎となる言語学、心理学、教育学の関連知識を学んだ後、それぞれの目標言語の言語学的知識を得て、より具体的な研究領域、すなわち第一言語習得論、第二言語習得論、外国語教授法、バイリンガル教育、早期外国語教育、言語と文化の関わり等の研究に従事します。加えて、実践的学習の一環として、教育現場である教室で実習を行い、理論と実践の統合を図ります。

学生メッセージ

島川 崇

SHIMAKAWA, Takashi
博士後期課程
アーツ・サイエンス専攻



紆余曲折ののち、自分の原点に戻る

私は学部生のときに教育学を専攻していましたが、教育とは関係のない一般企業に就職をしました。その後、波乱万丈、紆余曲折した人生を歩み、図らずもたどり着いたのが、教育の世界でした。学部を卒業して30年が経過し、もう一度しっかりと学問としての教育学を究めたいと思い、母校の博士後期課程に入学しました。将来は自分の専門学校を作りたいと思っています。



公共政策・社会研究専攻

教員数 40名

科目数 101科目

英語開講 81%

今起きている、平和を揺るがす現象。その原因をあらゆる側面から研究する。

公共政策を含む社会科学の研究分野を深く掘り下げると共に、他の領域との関連も視野に入れながら広く学際的に研究し、国内および国際機関等において、鋭い分析力と構想力を基礎に、柔軟な課題解決能力を発揮しうる人材を育成します。



専攻主任メッセージ

モンゴメリ ヘザー 教授

本専攻には社会科学関連の5つの分野が置かれています。もちろん、これらは各々完全に独立したものではなく、理論的また方法的にも結びつきが強い分野であり、学生には自身が選択した分野の知の探求のみならず、学術に対する学際的な態度が必然的に求められます。多くの科目が英語を教授言語として開講されており、多様なバックグラウンドを持った日本国内・国外出身の学生が、国際色豊かな教員の指導の下、学術の研鑽に励んでいます。

専門分野

SPECIALTY

■ 政治・国際研究専修

政治・国際研究専修は、国際関係学、政治学、行政学、公共政策、法学の領域に及び、開講科目は、政治思想史、難民法、他国間外交、比較政治・行政論、法と平和、行政学、国際機構論等を含んでいます。この専修では、国際関係学・政治学・行政学・法学の多領域における教育・研究の機会が与えられ、規範的研究・実証研究・政策研究の3つのアプローチを用いて、各領域における理解を深め、教育・研究に取り組むことができます。

■ 公共経済学専修

公共経済学専修では経済学・経営学分野を学ぶことができます。経済学分野を選ぶ場合には、最初にミクロ・マクロ経済学、計量経済分析、上級計量経済学のコア科目を履修し、経営学分野では、経営学、会計学、ファイナンス分野から、関連科目を中心に履修します。入学と同時に割り当てられる指導教員のもとで研究テーマを定め、上記の科目の知識を習得するとともに、研究を深めてゆきます。

■ 社会文化分析専修

社会文化分析では、社会学、人類学の方法論や理論を使って今日の世界的な課題を研究します。ジェンダー・セクシュアリティ研究、科学技術社会論、グローバルヘルス、人口と開発、暴力、現代宗教、社会不平等、グローバリゼーションなど幅広い領域を専門とする教員の密な指導のもと、学生はこれらを組み合わせた多角的なアプローチで、自身の関心に基づく研究を行います。社会文化分析では、今日の世界が直面する喫緊の課題を解釈するのに必要なスキルを習得できます。



■ メディアと言語専修

メディアと言語は学際的な専修であり、社会言語学・コミュニケーション・メディア・翻訳研究の分野で専門的な教育を受けることができます。基礎的研究スキルを獲得し、プロジェクト実施型のコースでそれらを応用することができます。また、関連学問領域における重要な理論も理解することができるようになります。これらの知識と方法論を土台として、現代社会におけるメディアと言語の意味・関係・働きに関わる多様なテーマをクリティカルに吟味する研究を行うことができます。

■ 平和研究専修

平和研究専修は、平和・紛争・安全保障に関する様々なコースを提供します。平和研究を概観する基礎科目から、人権、見解・規範、ジェンダー、宗教、紛争解決、平和構築、開発や経済問題、従来型及び他の安全保障問題、人間の安全保障、国際機構と国際法の役割を取りあげる専門科目へと発展します。既存もしくは潜在的な紛争を分析し、実証的研究プロジェクトを立ち上げ、将来的には政府機関、国際機関、NGOなどで平和と安全保障に関する課題に取り組む能力を身につけます。

学生メッセージ

縄井 琳

NAWAI, Rin
博士前期課程
公共政策・社会研究専攻


多様な視点を得られる環境

日本のメディアにおける第二次世界大戦の表象について研究しています。ICU大学院に入学して驚いたのは、学生のバックグラウンドの多様さです。育った国も年齢も研究分野も様々なクラスメイトたちとの対話はいつも刺激的で、新たな視点を与えてくれます。そんな環境で学ぶことで、自分の研究もより多角的に深められていると感じています。


※ 各教員の研究内容等は <https://www.icu.ac.jp/academics/gs/faculty/> に掲載されています。

比較文化専攻

教員数 25名

科目数 49科目

英語開講 29%

人類の歴史の営みを考察し、今の時代へ提言する。

広義の文化の諸現象を、問題指向的な方法に基づき深く比較研究し、リベラルアーツの精神と高度な人文学の訓練とを結合した、未来への先見性と責任感を備えた人材を養成します。



専攻主任メッセージ

魯 恩碩 教授

比較文化専攻では、人文科学・歴史学の科目群を分野横断的に学ぶことにより、文化現象を総合的に把握するセンスを伸ばすことができます。日本、アジア、ヨーロッパ、北アメリカ等の地域の歴史・宗教・哲学・美術・音楽・文学に関する多様な授業が提供されます。対話を重視するこれらの少人数編成の授業を通して広い視野を身につけることは、論文指導教員の指導のもとでの各自の専門研究において独創的な視点を得る基盤となるのです。

専門分野

SPECIALTY

■ 日本文化研究専修

日本の歴史・芸術・思想・宗教・文学など様々な分野の少人数ゼミ形式の授業に参加して日本文化を広く俯瞰します。また世界の諸地域の文化に関する授業にも参加して、アジア世界における日本の位置づけや、欧米との国際関係にも注目するグローバルな視点を養います。アカデミックアドバイザーによる個別指導のもとに作成する修士論文では例えば、歴史・思想・宗教的な観点を含めて文学・芸術を理解するというような分野横断的な研究が可能です。



学生メッセージ

佐々木 果音

SASAKI, Kanon
博士前期課程
比較文化専攻


対話を礎とする研鑽の場

私は西洋古典学の分野で悲劇を研究しています。担当教授による専門的な指導のもと、学際性豊かな授業に参加し、異なる専門領域を持つ仲間たちとの交流を通じて、日々刺激を受けています。ICUでの生活は対話を礎とし、授業、研究会、寮生活など多様な場面において、思索を深め、広い視野を培う機会に恵まれています。研鑽を深めるにふさわしい環境だと実感しています。


※ 各教員の研究内容等は <https://www.icu.ac.jp/academics/gs/faculty/> に掲載されています。


■ 超学域文化研究専修

学問分野間の垣根を取り払い、世界の諸地域の文化を扱う歴史学・人文学の様々な研究方法を、ディスカッションを重要視する少人数のゼミを通して身につけることができます。時間と空間を超えた比較の観点を備え、様々な学問分野の研究方法論に触れつつ、アカデミックアドバイザーによる個別指導のもとに専門的研究手法をしっかりと修得する本専修の学びにより、本当の意味でオリジナルな研究成果につながる学術的感覚と見識が養われます。

学生メッセージ

OUMA, MAY WENDO

博士前期課程
アーツ・サイエンス専攻


Evolving and Exploring in the Classroom and Beyond.

My research at ICU focused on black-British diaspora literature. Through incredible authors such as Zadie Smith and Bernardine Evaristo, I explored the notion of belonging in contemporary, multicultural Britain. I participated in various different courses including those relating to Japanese Literature, Comparative Culture, and Sociology, and the incredible professors provided invaluable insight and support throughout. The spirit of collaboration and open discussion at ICU encouraged me to foster a similar environment in my future classrooms as a professor.

〔比較文化研究会〕

比較文化専攻には、学生・修了生・教職員を主たる構成員とする「比較文化研究会」が設けられています。比較文化研究会では、論文等の研究成果を学術誌『ICU比較文化』として発行するほか、比較文化を主題とする博士論文の中ですぐれた業績と認められながらも出版の機会に恵まれない著作を「ICU比較文化叢書」として独自に刊行するなど、会員の研究活動を支援するさまざまな活動を行っています。会員同士の交流や、相互啓発による研究の活発化のためにも、入学の際には研究会への参加も推奨しています。



学生メッセージ

福田 柊平

FUKUTA, Shuhei
博士前期課程
比較文化専攻


文学研究に最適で、刺激的な場所

日本近現代文学の研究をしています。比較文化専攻では、人文科学を幅広く履修でき、文学研究のために最低限必要な哲学的・歴史学的基礎も学ぶことができます。所属している園山先生のゼミでは、国際的・学際的交流が盛んで、専門領域の外側からの視野が求められ、日本という国を高次の視点から見直す機会に恵まれており、レベルの高い訓練を受けることができます。

理学専攻

教員数 25名

科目数 36科目

英語開講 83%

社会との関わりの中で理学のあり方、多彩な可能性への道筋を探る。

理学の学問的諸分野および関連分野の専門的訓練と研究に留まらず、科学全体の文脈の中で専門分野を理解し、更には社会的文脈の中で科学そのものの役割を位置づけることのできる人材を養成します。



専攻主任メッセージ

石橋 圭介 教授

私たちは、学部で思うような勉強ができなかった方から、将来研究者を目指す方まで、さまざまなバックグラウンドをもった学生に、手厚い指導を行うことを目指しています。また、実社会でありがちな「答えのない問題」に出会ったときに、それを自力でどのように対処するかを学ぶためにも最適なプログラムだと思います。

専門分野

SPECIALTY

■ 数学・情報科学専修

この専修では、理論と応用あるいは実践を互いに補いながら、古典的題材から、国内外の最先端の分野まで、指導教員と綿密に連携しながら研究を進めます。修了後は、企業や教育の分野に就職したり、国内外の博士課程へ進学し、研究職を目指します。予備知識としては、学部3年生までの幅広い知識および専門分野の基礎的な学びをしていることが望ましく、また、英語を含む外国語で書かれた論文を読むための外国語能力が必要です。

出願に際してのご注意

理学専攻に入学を希望する場合には、入学後の研究・実験環境を確認するため、本学オープンキャンパスなどの機会を利用して本学の施設・設備の見学や、研究内容について事前に関係教員にお問い合わせくださることをお勧めしています。

■ 物質科学専修



物質に関する科学は、主として、実験と理論に分類されますが、さらに計算機による第一原理的計算が重要な分野となっています。実験においては、基礎的な実験スキル、さらに、実験結果から物質の理解に到る論理的展開、理論においては物質科学の基本法則と現象のモデル化を基礎とする事実の説明と予言を行います。実験科学、理論科学、計算機科学の連携と統合を目指します。

■ 生命科学専修

本専修では、植物学、動物学、微生物学の3つの分野において、分子レベルから個体・生態レベルの研究が行われています。テーマ別では、生体リズム、代謝、DNA修復、発生、生殖行動、生態保全が挙げられます。専門的なテーマに加え、科学的なものの考え方、基本的な研究の進め方についての指導を行うとともに、リベラルアーツ大学の特性を生かして、生命科学と社会の繋がりについて考えたり、科学コミュニケーション能力を養うことを重視しています。



学生メッセージ

内田 樹

UCHIDA, Tatsuki
博士前期課程
理学専攻



研究と出会いで育つ場所

ICU大学院理学専攻の院生は、最新設備の整う主にT館と呼称されるトロイヤー記念アーツ・サイエンス館で研究と学びを深めることが出来ます。授業や実験の場としての利用に加え、3階の院生室では他専修の院生と交流することもあります。自分の専門の探究に集中できる環境と、視野を広げる出会いが共存する、それがICU大学院の魅力です。

学生メッセージ

百瀬 彩

MOMOSE, Aya
博士前期課程
理学専攻
(2025年3月修了)



ICUキャンパスのラボでの研究生活

私は5年プログラム生で、温州ミカンの皮の薬効成分について研究しました。ICUでは分野横断的な学びをできるのが強みです。他メジャー専攻の学生や海外学生の意見をもらう機会も多く魅力的でした。少人数のため先生との距離も近く、色々な分野の先生からきめ細かい指導をして頂きました。ICUを、5年間で満喫することができました。

学生メッセージ

高 子 浩

GAO, Zihao
博士前期課程
理学専攻



緊密な交流と高機能設備、部活による活気あふれる

情報科学を専門とし、複雑なネットワークの実践的な応用について研究しています。少人数制を活かし、学生と教員が各自の研究テーマについて密に交流できます。また、研究室には数値計算を迅速に実施できる設備が整っていて、研究や学習に役立ちます。研究活動以外にも音楽サークルに参加することで、同じ興味を持つ仲間と演奏を楽しめ、充実した学生生活を送れます。



進路について

専門性に加え、幅広い教養が土台にあるからこそ、あらゆる分野で活躍できる

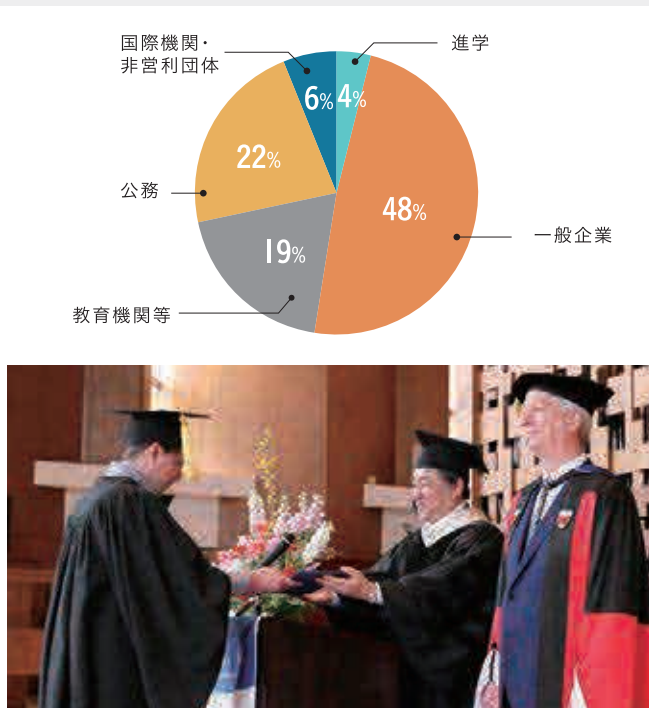
みなさんは大学院を修了後、どのようなキャリアプランを描いていますか？ ICUでは、進学・就職支援を広い意味での教育の一環としてとらえています。

画一的な社会風潮に流されることなく、学生が自らの適性を活かし社会に貢献できる進路を選択できるよう、国籍の違いを問わず、一人ひとりのニーズに向き合いきめ細やかな進路支援を行っています。そのため、大学院修了生の進学・就職先も多方面にわたっています。

主な進路

グローバル企業 | 国際機関・非営利団体 | メディア関連 | 技術者・研究職 | 教職員・公務員 等

過去の分野別進路先 2023年度修了生 68名



就職先・進学先 (2022年度)

進学	
国際基督教大学 アーツ・サイエンス研究科	
就職	
一般企業	教育機関等
P & G ジャパン	アオバジャパン・インターナショナルスクール
リコージャパン	東京大学
沖電気工業	Khon Kaen University
カシオ計算機	University of Mandalay
Vietnam News Agency	中央大学
Earth Technology	Pannasastra University of Cambodia
SHIFT	青山学院高等部
ARISE analytics	陽友学園女子中学高等学校
TIYA	Colorado College
フラジャイル	サレジアン国際学園中学校高等学校
伊藤忠商事	ANCHORパートナー
三井物産	三幸学園
シオザフ	Kids Dream Maker, Inc.
CBC	公務
三井住友信託銀行	Ministry of Public Administration, Sri Lanka
野村不動産	Vietnam State Treasury
三井不動産レジデンシャル	Ministry of Foreign Affairs, Myanmar
EYストラテジー・アンド・コンサルティング	Public-Private Partnership Center of the Philippines
PwCコンサルティング	Gansu Provincial Department of Finance, China
アクセンチュア	House of Representatives, Philippines
KPMG税理士法人	Department of the Interior and Local Government, Philippines
イー・アール・エム日本	Tamkeen
Langley Esquire	Vietnam National Institute Culture and Arts Studies
SDG Partners	General Statistics Office of Vietnam
サイバード	Ministry of Foreign Affairs of Viet Nam
ブレイク研究所	Ministry of Finance, Pakistan
三田ホールディング	国際機関・非営利団体
NODA Japan	国際協力機構
ジェイ エイ シー リクルートメント	AII-China Federation of Trade Unions
Jstyle	Vietnam-Japan Human Resources Development Institute
	日本気象協会

上記は「博士前期及び、博士後期課程」のデータです。

修了生の声

ICUで得た幸せを
多くの学生に返せるように

大学教員
今井 栞奈



私はこれまでタイやトルコの大学に勤務し、現地の日本語教育に携わってきました。特にトルコのBoğaziçi Universityでは、不安定な国内情勢の中にあってもひたむきに日本語と向き合う学生達の姿に、教える立場にある私の方がより多くのことを学ばせてもらったと感じています。現在は都内の大学で留学生に日本語を教えています。日本が好きだ！という熱い気持ちを持った学生達と過ごす日々は何物にも代え難い時間です。大学院で知った研究と向き合う楽しさや喜び、そして多くの方から頂いた温かなサポートは、今もこの胸に灯火のように残っています。それらを今度は私が学生に返していきたいという思いで、今後も学生達と向き合って参りたいと考えています。

対話を通して研究者として
成長できる環境

早稲田大学総合研究機構
次席研究員(研究院講師)
那須 里絵



私の専門は臨床心理学です。ICUの博士課程では、教員や仲間たちとの対話を通して研究者に求められるスキルを養い、知識を深められます。私はICUでの学びを通して、研究を行う上で必要なあらゆる力を習得できたと思います。現在は、都内の大学研究所で常勤研究員として勤務し、社会的養育に関する研究に従事しています。日本の社会的養育に関する研究課題は山積みですが、ICUで培われた研究に対する姿勢や思考力を活かし、今後も社会や子どもたちに還元できるような研究を行いたいと思っています。

入学選考

ICU大学院では、4月入学のための入学選考（秋季選考および春季選考）と9月入学のための入学選考（9月入学選考）を実施しています。選考は、出願時に提出された出願書類による書類審査と、日本語および英語による面接審査により行います。

詳しくはこちら <https://www.icu.ac.jp/admissions/gs/exam/>



入学選考日程

入試区分	2026年4月入学		2026年9月入学
	秋季選考	春季選考	
出願受付期間	2025年8月7日～8月21日	2025年11月14日～11月28日	2026年2月18日～ 3月4日
第一次審査(書類審査)結果通知	2025年9月25日	2026年1月29日	2026年4月10日
二次審査(面接)スケジュール	2025年9月30日 予備日:10月4日	2026年2月3日 予備日:2月5日	2026年4月25日 予備日:4月28日
合格発表	2025年10月14日	2026年2月17日	2026年5月19日

イベント情報	大学院説明会 5月24日(土)、10月25日(土)
	オープンキャンパス 7月19日(土)、8月15日(金)、8月16日(土)、2026年3月20日(金)

奨学金・奨励金

ICU奨学金・奨励金

博士前期課程在籍者対象

- ICUトーチリレー大学院新入生奨学金
- ICUトーチリレー在学奨学金
- 外国人留学生奨学金

修士・博士課程在籍者対象

- 研究発表奨励金

博士後期課程在籍者対象

- 博士後期課程学生研究奨励金

日本政府(文部科学省) 奨学金

ICU大学院で受け入れる国費留学生に対して、授業料・施設費の全額および毎月の生活費が支給されます。



詳しくはこちら <https://www.icu.ac.jp/admissions/finance/index.html>



TA制度

Teaching Assistantとして授業の補助をすることにより、教員から直に教育方法等を学びながら、報酬を得られます。奨学金と並び、大学院生の研究活動を経済的にサポートするシステムです。



INFORMATION

他大学院との教育交流協定

他の大学との学術交流を促進し、教育・研究上の実績をあげることを目的として、大学院生の履修機会の拡大を図り、以下の他大学院と教育交流協定を結んでいます。履修に関する詳細は本学ホームページをご覧ください。(https://www.icu.ac.jp/academics/collabo/index.html)

■ 総合研究大学院大学 ■ 東京外国語大学 ■ 東京女子大学 ■ 国連大学 ■ 東京農工大学 ■ 長崎大学

■ 大学院数学連絡協議会加盟校 [中央大学、学習院大学、日本女子大学、明治大学、日本大学、立教大学、上智大学、東京理科大学、東京女子大学、津田塾大学]

特色ある留学生プログラム

■ アジアで唯一のロータリー平和センター指定校

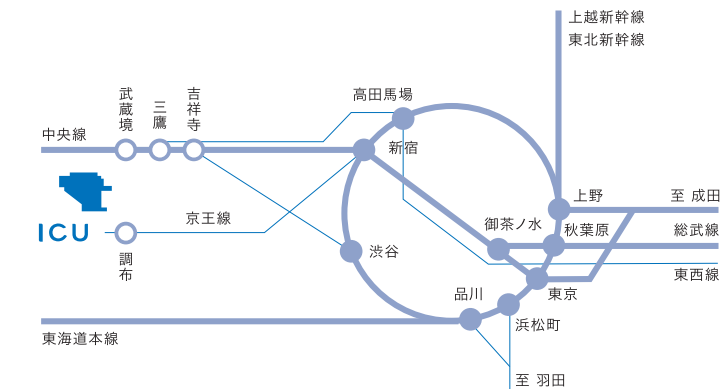


国際ロータリーとの協力により、世界平和と紛争解決を推進するリーダーを育成することを目的として1999年、本学に「ロータリー平和センター」が設置され、2002年より継続して毎年約10名のロータリー平和フェローの受け入れを行っています。ロータリー平和フェローは、大学院博士前期課程に所属し、平和と紛争解決を中心とする国際問題研究に従事し修士の学位を取得します。ロータリー平和センターは世界7カ国、8大学院に設置されていますが、ICUはアジアで唯一、修士の学位を取得するプログラムを提供しています。

■ 日本政府による留学生受け入れプログラムへの参加

アジアの若手行政官や研究者の留学を助成する人材育成奨学計画(JDS)プログラム、中国若手行政官等長期育成支援事業(JDS中国)などに参加し、毎年多様なバックグラウンドの留学生を受け入れています。

ACCESS



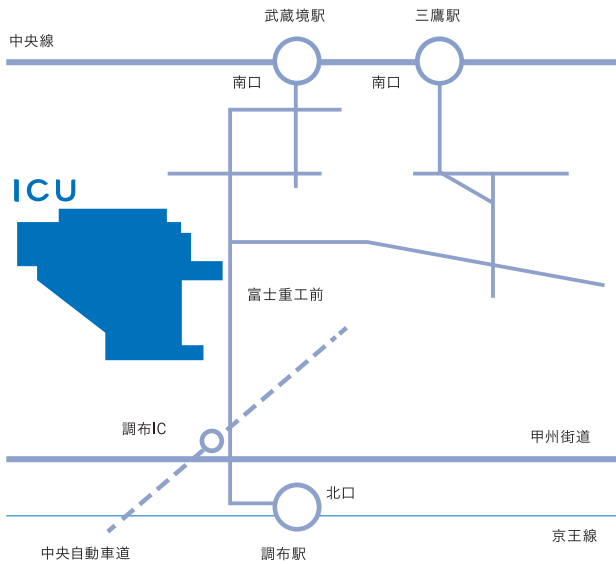
遠隔地からICUまで

◎ 航空機利用の場合

東京モノレール	羽田空港第1ビル駅または羽田空港第2ビル駅～浜松町駅、または京浜急行で羽田空港～品川駅
JR山手線・京浜東北線	浜松町・品川駅～東京駅
JR中央線	東京駅～三鷹駅または武蔵境駅

◎ 新幹線利用の場合

東海道・東北・山形・秋田・上越・北陸新幹線で東京駅→JR中央線で東京駅～三鷹駅または武蔵境駅



最寄駅からICUまで

◎ JR中央線武蔵境駅(南口)

- ・小田急バス「国際基督教大学」行き乗車、終点下車(乗車時間約12分、大学構内まで入ります)
- ・小田急バス「狛江駅北口」「吉祥寺駅(大沢経由)」行き乗車、「富士重工前」下車(乗車時間約10分)、徒歩10分

◎ JR中央線三鷹駅(南口)

- ・小田急バス「国際基督教大学」行き乗車、終点下車(乗車時間約20分、大学構内まで入ります)
- ・小田急バス「武蔵小金井駅」、「調布駅北口(西野経由)」行き乗車、「富士重工前」下車(乗車時間約20分)、徒歩10分

◎ 京王線調布駅(北口)

- ・小田急バス「武蔵境駅南口」、「三鷹駅(西野経由)」行き乗車、「富士重工前」下車(乗車時間約20分)、徒歩10分